

宇佐町・片野新町地区浸水対策事業

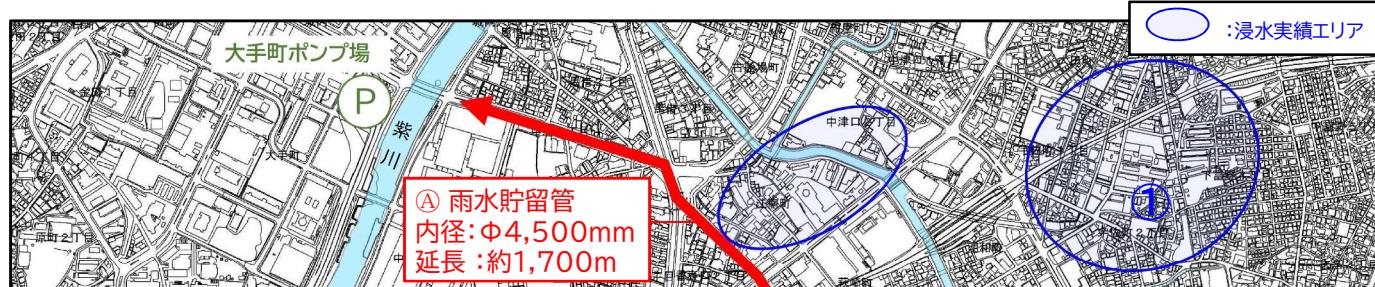
資料 1

1. 浸水被害状況

当地区は、平成21年、22年、25年、29年、30年の豪雨により浸水被害が発生しており、特に、平成30年7月の豪雨では、市内で過去最大規模の降雨(70mm/h)を記録し、床上浸水110戸、床下浸水156戸の被害が発生した。

2. 浸水対策

災害に強く、安らぐまちの実現を図るために、④雨水貯留管や⑤雨水増補管の整備を行う。



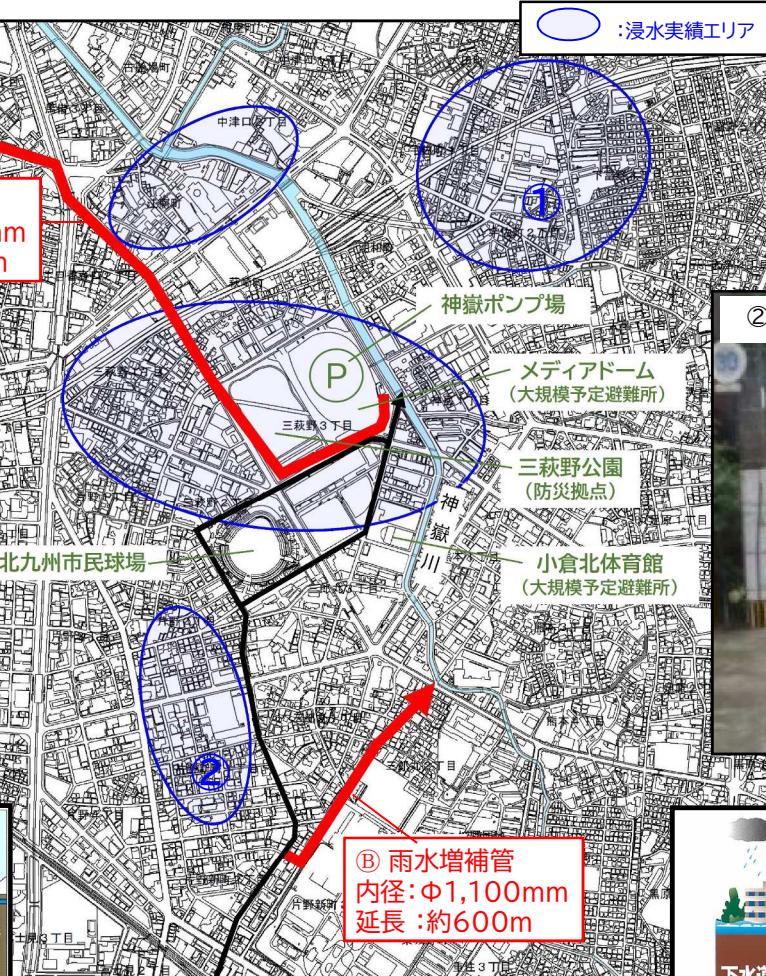
①宇佐町1・2丁目



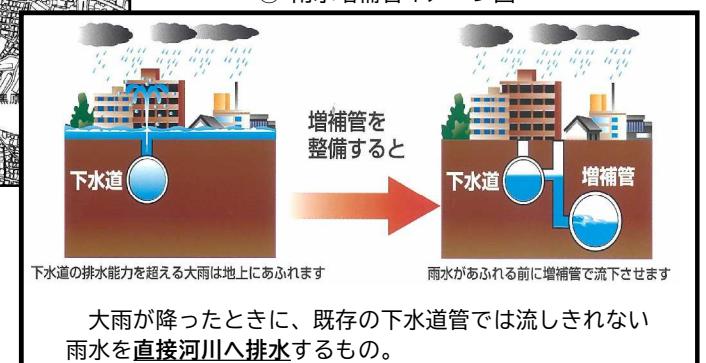
Ⓐ 雨水貯留管イメージ図



大雨が降ったときに、既設の下水管では流しきれない雨水を一時的に貯留するもの。



浸水被害（H30.7.6）及び浸水対策等箇所図



大雨が降ったときに、既存の下水道管では流しきれない雨水を直接河川へ排水するもの。

◆事業スケジュール

令和5年度	基本計画、事前評価1
令和6年度	基本設計、事前評価2
令和7年度	実施設計
令和8年度	工事着手

◆事業費、事業期間

事業費	93億円
事業期間	令和5年度～令和12年度

◆費用便益費

1.79
(1.0以上で費用効果高)